

2022.3.23(水)

▶ 4.17(日)

平成館 企画展示室

東京国立博物館
コレクションの

保存と修理

本特集は今年で22回目を迎えました。このリーフレットでは、今回の展示作品から「雛雀図」「密教法具、儀式風俗資料その他」の修理過程を、また、当館内の保存修復の現場を、「予防」「診断」「修理」の観点からご紹介します。作品ごとの素材や技法、状態に適した修理を行ない、未来へと文化財を伝えるための保存活動をご覧いただき、一味違う展示をお楽しみいただければ幸いです。

雛雀図 重要文化財

すうじゃくず 【TA-355】

中国 南宋時代・13世紀 伝宋汝志筆 1幅
絹本墨画淡彩 縦21.6cm 横22.4cm
修理 株式会社 修護

餌を求めて籠を傾けるほど激しく動く雀の雛^{ひな}たちの姿を巧みにとらえます。羽の繊細な毛描きとほのかな彩色、籠の編目の堅実な筆線が見事です。江戸時代の狩野派により、南宋時代の宮廷画家宋汝志筆と鑑定されました。日本であつらえられた愛らしい表装も見どころです。

本紙に強い横折れがあり、折山には擦り切れもみられました。また、濃い茶色のしみが鑑賞を妨げていました。表装裂の下側には破損がありました。解体して裏打ち紙の交換、折れ伏せによる補強と折れの再発予防などを行ない、元の掛幅装に仕立て直しました。

修理前

修理後



断裂

表装裂が劣化し、軸棒の取り付け箇所で大断裂がありました。



旧補修絹ゆがみ

絹地の欠失に入っていた旧補修絹にゆがみなどがありました。



横折れ

本紙全体に横折れがみられ、摩耗し欠失している箇所もありました。



1 調査



修理前に損傷状態や構造などを詳細に調査しました。

2 解体



本紙と表装裂を切り離し、解体しました。

3 裏打ち紙除去



画面を養生したのち、裏打ち紙を除去しました。

4 補絹



本紙の絹地と組成の近い補修絹（電子線劣化絹）で欠失部を補填しました。

5 肌裏打ち



本紙裏面に薄い楮紙で裏打ちをして、本紙を補強しました。

6 総裏打ち



増裏打ち、折れ伏せを行ない、表装裂と接合し、中裏打ち、総裏打ちを行ないました。

7 仕上げ



表装裂は補修して再使用して、元の表装に仕立て直しました。



密教法具、 儀式風俗資料その他

みっきょうほうぐ ぎしきふうぞくしりょうそなた 【TJ-4834-11】

チベット、ネパール、インド 19～20世紀 3箱
修理 東京国立博物館 ほか

これらの資料は、河口慧海(1886～1945)が日本人として初めてチベットを探検した際に収集した法具などが中心です。なかには慧海が探検の途中、釈迦(ブツダ)が悟りを開いたインドのブツダガヤを訪れ、採集した尼連禪河の石や菩提樹の葉も含まれています。

作品には埃による汚損が、マウント裂には虫損が認められました。また、標本箱は変形、割損し、ガラス蓋が欠失していました。作品を解体、洗浄し、虫損したマウント裂は、同色に染めた和紙などで裏打ちし、補強しました。箱は元の部材を使って組み立てました。

修理前



修理後



1 修理前の記録

劣化具合を把握し、クリーニング後に各作品を正しく箱に戻すため、調査・記録をしました。

2 解体



マウントに処置を行なうため、作品を解体しました。また、マウント裂の旧裏打ち紙も取り除きました。



慧海さんは
仏教の勉強のため
旅をしたのよ



いろんな材質で
できていて、大変だほー



3 クリーニング、題箋のフラットニングと裏打ち



収集品やマウント裂にドライクリーニング、ウェットクリーニングを行ない、また、虫殻も取り除きました。題箋もしわを伸ばし、漂白したうえで、裏打ちを行ないました。

4 マウント裂の裏打ち



マウント裂と同じ色に染めた和紙を用い、裂に裏打ちを施しました。

5 作品の取り付け、収納



アクリル蓋を新調し、マウントに作品を糸で取り付けました。最後に、箱へ再度収納しました。

保存と修理の現場をのぞいてみましょう!

今度は保存修復のお仕事を
見に行きましょう



東京国立博物館の裏側では、あらゆる分野の文化財をより良い環境下で保存し、安全に展示するために、保存科学や保存修復の専門家たちが文化財に寄り添い、展覧会を支えています。

予防

文化財をとりまく環境を整える

文化財の劣化や損傷の原因は、空気環境、光、害虫、移動による振動など、あらゆる場面に隠れています。文化財のおかれる環境を把握し、改善するために、温湿度の記録だけでも、データロガーや毛髪式自記温湿度計など約300地点（特別展を除く）に配置して、データを日々集積し、メンテナンスを実施しています。



● 展示ケース内の温湿度を保つため、調湿材を設置



● 収蔵庫ほか、各所に設置した「虫捕獲トラップ」のチェック



● 定期的な収蔵庫内の温湿度管理

診断

文化財や保存環境の状態を把握する

より安全な展示や保存、修理ができるように、目視だけでは得られない情報を科学的に調査し、文化財とその環境の診断を総合的に行ないます。文化財の調査で得られた診断結果はカルテに記録され、その後に行なわれる処置内容とともに保管されます。



とっても科学的なんだほー



● 文化財のCT撮影中



● CT画像で文化財の構造的な状態を確認

修理

損傷を直し文化財の安定化をはかる

収蔵品には、損傷していることにより、展示が難しい文化財もたくさんあります。修理をすることで、安全な展示を可能にし、収蔵庫で眠っていた文化財が再び展示される機会を生み出します。また、劣化が原因でおきる二次的な損傷を防ぐためにも、修理は大変重要です。東京国立博物館では、解体を含む大がかりな本格修理と、展示に向けたクリーニングや必要最小限の修理などを含む対症修理を実施しています。

令和3年度の本格修理は年間約50件、対症修理は年間約200件の文化財に対して行なっています。



● 安全に展示するため、中性紙のマットへ版画を固定中



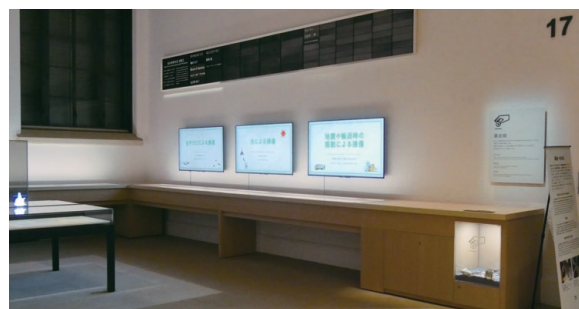
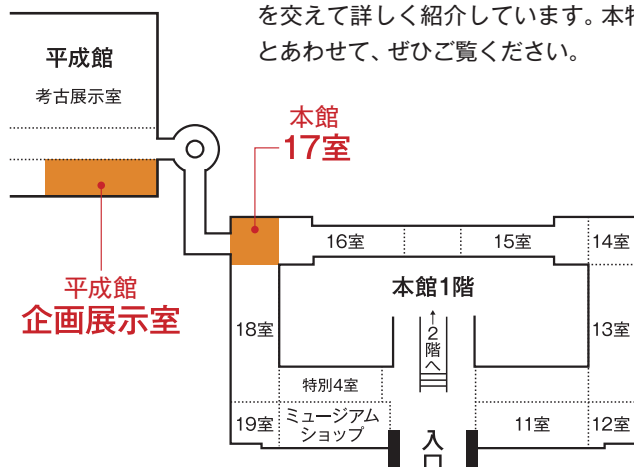
● 展示に向けた染織作品のしわ伸ばし作業中



● 休館日、平常展示中の吉祥天立像の応急修理中

文化財保存 取り組みの紹介 本館17室

平成館企画展示室における本特集のほかに、本館17室では文化財保存の取り組みをご紹介する常設展示も行なっています。展示や収蔵環境の整備の様子や文化財の調査、修理の工程や修理に用いられる材料や道具について、実物と映像を交えて詳しく紹介しています。本特集とあわせて、ぜひご覧ください。



出品リスト

No.	名 称	員数	作者／出土／伝来等	時代	列品番号
1	渡唐天神図	1 幅	景南英文賛	室町時代・文安3年(1446)	A-12453
2	神農図	1 幅	伝楊月筆	室町時代・16世紀	A-972
3	色紙華嚴経断簡(泉福寺経)	1 幅		平安時代・12世紀	B-3493
4	◎ 雛雀図	1 幅	中国 伝宋汝志筆	南宋時代・13世紀	TA-355
5	◎ 縫箔 白地草花肩裾模様	1 領	奈良・金春家伝来	安土桃山時代・16世紀	I-3246
6	埴輪 頭巾を被る男子	1 個	埼玉県桶川市川田谷出土	古墳時代・6世紀	J-5621
7	注口土器	1 個	北海道江別市萩ヶ岡 旧江別停車場出土	続縄文時代・7世紀	J-8395
8	壺形土器	1 個	茨城県鉾田市紅葉出土	弥生時代(後期)・1～3世紀	J-20254
9	鉄	1 個	韓国 梁山夫婦塚出土	三国時代(新羅)・6世紀初頭	TJ-4317
10	経帙残欠	1 巻	法隆寺伝来	飛鳥～奈良時代・7～8世紀	N-326
11	密教法具、儀式風俗資料その他	3 箱	チベット、ネパール、インド	19～20世紀	TJ-4834-11
12	白釉黒地白花牡丹文枕	1 個	中国・磁州窯	北宋時代・12世紀	TG-2003

◎：重要文化財

関連事業

最新情報はウェブサイトで <https://www.tnm.jp/>

オンラインギャラリートーク

「掛軸の修理と補修紙の作製について」

講師：大山龍顕（保存修復課保存修復室アソシエイトフェロー）

掛軸の解体修理に使用する和紙と裏打ちの技術、「色紙華嚴経断簡」の本紙に合わせて作製した補修紙の話を交えて掛軸の修理についてお話いたします。

- 3月下旬～4月配信開始予定。
- ウェブサイト「みどりのライオン オンライン」もしくは「トーハクYouTubeチャンネル」からご覧いただけます。



みどりのライオン
オンライン



トーハク
YouTubeチャンネル



編集・発行：東京国立博物館 制作：精興社
*掲載した写真は修理技術者よりご提供いただいたものも含まれます。
©2022 東京国立博物館 Tokyo National Museum